

津知地区 山車の半間の新造

記念曳きが行われました

津知地区は、宝くじの社会貢献広報事業の助成を受けて、新造から50年を超え老朽化していた山車の半間(車輪部分)の新造を行いました。同地区の山口直也さんは、今年1月から3月にかけて、半間1個あたり100個を超えるパーツを制作。それらをくぎや接着剤を使わずに組み上げ、直径1mの立派な半間を完成させました。

6月9日(日)には硯宮(すずりのみや)神社から水郷潮来あやめ園にかけて記念曳きが行われ、山車を運行する若連の威勢のいい掛け声や芸座連の賑やかなお囃子が響き渡りました。今年の硯宮神社祭礼は7月28日(日)に執り行われる予定です。



材料納品



棟梁から引き渡し



山車に取り付け



曳き廻しの様子

地域おこし協力隊通信

第62回



リポーター…
羽下 健太 隊員

外から見た潮来市はどんなところ？
潮来二中で授業を行いました

こんにちは！すっかり暑い時期になり、これから長い汗だくの日々が続くのかと先が思いやられる羽下です。

さて、今回は昨年も実施いたしました。潮来市立潮来第二中学校での総合的な学習の授業で、私たち地域おこし協力隊が行った講演とクイズ大会についてお話しいたします。

今年も学校よりお声がかざさり、このような機会を設けていただきました。先生方、お忙しい中、昨年に続きありがとうございます。

授業テーマは「潮来市以外の世界」。「世界は(日本は)広い」を感じる」。潮来市以外の世界はどんなところがあるのか、外から見た潮来市はどんなところなのか、そもそも住んでいるけどどこまで詳しく知っているのか?といった題目です。

内容は、1年生の5時間目に、県外から来た地域おこし協力隊3人それぞれの経歴や



真剣に話を聞いてくれました



クイズ大会は大盛り上がり!

活動についての紹介。6時間目には潮来市についてのクイズ大会を行いました。協力隊の紹介では、生徒の皆さんがリアクション大きく、話は真剣に聞いてくれたので、どんな人たちで何をしているのか、なんとかわかっていただけたかなと思います。

クイズ大会では少し難しい問題もありましたが、積極的に参加してくれたおかげで大いに盛り上がりました。アンケート内でも、充実した時間となってくれたようで、ありがたいコメントをたくさんいただきました。私たちとしても元気いっぱい可愛らしい生徒の皆さんの楽しそうな姿を見てほっこり嬉しくなり、良い時間を過ごすことができました。

今後、授業で潮来市について調べる際など、参考の一つになっていただければと思います。どんなことを調べたのか、私たちに是非教えてほしいですね。それでは!